

週報

2023年度 教会標語

「礼拝に集おう！主に癒され、整えられて」

＜先週の説教から＞

『ルカ ④—沈黙の意味』 武田真治牧師

詩編 4 : 3-6 ルカ福音書 1 : 16-25

『ルカによる福音書』が、なぜイエス様のご生涯を記す福音書なのに洗礼者ヨハネの誕生から書き始めているのかと申しますと、最も大きな理由は、この書が書かれた当時、ユダヤの人達の間では洗礼者ヨハネが有名であり、とても尊敬されていたからでした。そのヨハネさんが、救い主として紹介した人物こそイエス様だったと伝えなかったからでした。

このヨハネさんの父親が「ザカリア」です。ただ、そのザカリアが天使から『あなたの妻エリザベトは男の子を産む』という喜びの知らせを受けた時、彼は『何によって、わたしはそれを知ることができるでしょうか。わたしは老人ですし、妻も年をとっています。』と“証拠”を求めたのでした。すぐには信じられなかったし、喜べなかったのです。ただ、実は天使は『ザカリア、あなたの願いは聞き入れられた。』と言っています。この“願い”とは彼がずっと“祈り”求めていた願いごとのことであり、それは明らかに「子どもを与えてください」という祈りであったのでしょう。それが今回、ようやく神様に『聞き入れられた』=子どもが与えられると。そうであるなら、彼はすぐ大喜びすべきではないでしょうか、ようやく自分の祈りが聞かれたのですから。ところが、彼は『証拠を示せ』と、喜ばないばかりか疑っているのです。この彼の様子は、逆に言えば、今まで彼は自分の願いごとがとも起こるはずがないと思いながらも、祈っていたということになってしまいます。あるいは、自分の祈りが聞かれたら儲けものだと思って祈っていたのでしょうか？

この後、天使は『わたしはカブリエル、神の前に立つ者。喜ばしい知らせを伝えるために遣わされた』と、まさにザカリアが要求した“証拠”を示してあげるのです。その上で『あなたは、この事が起こる日まで話すことができなくなる。わたしの言葉を信じなかったからである』と言い、ザカリアをしゃべれなくさせてしまうのです。これは彼の不信への戒めという意味もあると言いますが、もう一つ、更にこれ以上、

ザカリアに“お詫びや言い訳”などの自己弁護など、愚かな言葉を語らせないためでもあったとも思えるのです。

そして何より“沈黙を与える”ことによって、自分のことを振り返り、子どもの誕生に備えよというメッセージではなかったかと思われま。まさに、詩編4編5節で「おのいて罪を離れよ。横たわるときも自らの心と語り、そして沈黙に入れ。」と言われている言葉通りではないでしょうか。

この後、再び、ザカリアが言葉を取り戻させてもらった時の様子は「すると、たちまちザカリアは口が開き、舌がほどけ、神を賛美し始めた」でした。しゃべれるようになって、真っ先に発したのは“賛美=讃美歌”だったのでした。これこそ“沈黙がなせる業”であったように思えるのです。

【今週の集会】

*聖書研究・祈禱会 I. 3月13日(水) 20:00
II. 3月14日(木) 休会

聖書: ハイデルベルク信仰問答

祈禱主題: 教育委員会を覚えて

担当者: (水) 岩佐

祈りに覚える人: 宮下さん 村上さん

【教勢報告】

主日礼拝 男23 女46 計69

祈禱会 I. 男7 女2 計9 II. 男1 女11 計12

日曜学校 幼稚科5 小中科7 計12

【次週主日礼拝】 3月17日(日)

聖書: 創世記 18:9~15

ルカ福音書 1:34~45

説教: 「ルカ⑥—神様にできないことはない」
武田真治牧師讃美歌: 294(1)、32、聖歌隊314、312、
392、24(1)

【次週当番表】

司式: 保坂長老 奏楽: 須田 礼拝: 茨木長老

献金: 岩佐 上松 受付: 飯島 吉岡

会堂準備: 小杉 富澤 長田 橋本

北條

看板: 曾我 週報: 吉岡 お花: 羽倉

【次週集会予定】

礼拝前: ・求道者会 ・聖書輪読会

礼拝後: ・日曜学校教師会 幼稚園理事会

オリブの葉編集委員会

・お茶の会 ・牧師と語る会

2024年 3月 10日

日本キリスト教団 上尾合同教会
牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549

<http://www.ageo-church.org/>